

第3次山鹿市総合計画基本構想編（素案）に対する「市民意見募集実施結果」

1. 市民意見募集期間 令和7年9月2日（火）から令和7年10月10日（金）まで
2. 市民意見提出件数 提出者数：6名 提出意見数：12件

No.	ご意見概要	市の考え方
1	人口は衰退、産業は維持に向けて努力、市民ニーズは拡大、市としてこのような短期予測をしていると解しました。財政は緊縮の途にあるにもかかわらず、市民意識は財政拡大を要する傾向にあるとするならば、その対策については基本構想に明示すべきであり、少なくともこれらに関わる要素として、財政の現状と中期・長期の財政予測を基本計画において明らかにするべきと考えます。	ご意見ありがとうございます。 本市の財政状況については、基本構想では大きな方向性を示す段階であるため、数値的な財政予測までは掲載しておりません。 今後策定するアクションプランの中で、事業の実施にあたっての財政的な考え方や、持続可能な行財政運営の方向性について、より具体的に整理してまいります。
2	① 文章に常体と敬体が混在しているが、このような点がないよう改善を望む。 ② 「さらなる取り組みが必要」とされているが、全く具体性がなく、極めて抽象化されてしまうのではないかと感じる。具体的な記述ができるか回答を求めたい。 ③ 「〇〇が必要」というフレーズがよく使われるが、具体性が無く形骸化していると感じる。特に、公共施設の統廃合、複合化などは、合併特例債の適用があったこれまでの期間に実施さるべきものであり、現在から将来に向けては、その実現可能性が低いと感じる。それでもなお必要とされているのであれば、下位計画を作成する前に、総合計画において、その意思を強く示すべきであると考え。	ご意見ありがとうございます。 ①文章表現については、常体と敬体が混ざらないよう、全体を見直し、できるだけわかりやすく統一いたします。 ②今後策定するアクションプランで、具体的な主要事業内容や取組の方向を示していきます。 ③公共施設の統廃合や複合化などについては、財政状況や市民サービスの維持を踏まえ、現実的な実現可能性を検討しながら、必要に応じて下位計画で方針を具体化していきます。
3	8年計画なのではないですが、当たり障りのない全体的に満遍なく広げた計画で、魅力をあまり感じませんでした。もう一段掘り下げる必要があるのかなと思いました。 また、第2次総合計画の振り返りがあるとよりわかり易かったです。色々状況やスピードが変化しているなか、2年位の短期的なものも必要だと思います。もし、あるのでしたら見つけられませんでした。すみません。 山鹿が好きなので今後ともよろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 第3次総合計画は、8年間の長期的な方向性を示す「基本構想」と、今後策定する前期4年間、後期4年間の「アクションプラン」の2つで構成しています。 ご指摘のとおり、基本構想編では市の全体的な方向を示しており、より具体的な取組内容や短期的な目標については、今後策定するアクションプランの中で4年を目安に整理していく予定です。 また、第2次総合計画の振り返りについては、計画の策定過程で成果や課題を確認したうえで、新たな計画に反映しています。今後、市民の皆さまにも分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。 引き続き、山鹿のまちづくりへのご関心とご協力をお願いいたします。
4	P11 人口の現状のところに移住者の推移グラフを追加できないか(P10に移住者は増加しているとの表現有り、具体性を持って貰う為)	ご意見ありがとうございます。 基本構想編は、市の将来像やまちづくりの方向性を示すことを目的としており、統計的なデータや詳細な数値は、できるだけ簡潔に整理しています。 移住の状況については、今後策定する「アクションプラン編」などで、施策の進捗を確認するための具体的なデータとして活用していく予定です。 そのため、基本構想編では新たにグラフを追加せず、文章表現で概要を示す形としています。また、移住に関する取り組みや成果は、別の広報や関連計画の中で分かりやすくお知らせしていきます。

第3次山鹿市総合計画基本構想編（素案）に対する「市民意見募集実施結果」

No.	ご意見概要	市の考え方
5	P12 「子ども、若者の割合を保っていくためのまちづくりが必要」は「子ども・若者の割合を増やしていくための市政が必要」の方が前向きな表現ではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見をふまえ、前向きで親しみやすい形として、次のように文章全体を修正しました。 「子どもや若者の割合を増やしていくためのまちづくりを進めていきます。」 この表現により、子どもや若者が安心して生活できる環境づくりの重要性をわかりやすく伝えることを意識しています。
6	P16 産業の現状のまとめについて 1次2次3次産業とも上昇とも低下ともいわずらい数値（％）なので全体的にほぼ横ばい状態と表現を変えた方がいいと思います。	ご意見ありがとうございます。 産業別の従業者数の割合については、変動幅が小さいため「ほぼ横ばい」と表現することも可能です。 しかし、本計画では、過去数年間の傾向を踏まえ、第1次・第3次産業の割合はやや上昇、第2次産業の割合はやや低下という動きが見られることを示すことで、産業構造の変化や今後の課題をイメージしやすくする意図があります。 そのため、基本構想編では現行の表現を維持し、全体像の把握と方向性の理解に役立てる形としています。
7	P16 まとめの下枠について 生産性の向上などを図るの後に「など就農者の増加につながる農業施策が必要」を追記してはどうでしょう。	ご意見ありがとうございます。 ご意見の内容をふまえ、前向きでわかりやすくするため、次のとおり文章全体を修正しました。 「就業者、特に農業の担い手が減っている中で、将来を支える人材の育成やブランド化、生産性の向上などに取り組むことが大切です。」 このように修正することで、就農者の増加につながる取組の方向性を含みつつ、全体として読みやすく、前向きな印象となるようにしています。
8	P19 市民ニーズについて アンケートの回答率が低いので調査方法を検討したが良いのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 今後の施策の評価にあたっては、より多くの市民の声を反映できるよう、アンケートの実施方法や周知などについて検討してまいります。
9	P33 構想の推進に向けて ここでは、PDCAの進行管理や第三者ので定期的な進行管理の具体的な期間を設定して市民に進行状況の報告をした方が良くと考えます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、市民へ計画の進行状況を分かりやすくお伝えすることは大切だと考えています。 一方で、基本構想編は、市の未来ビジョンやまちづくりの方向性を示すものであり、進行管理の具体的な方法や期間などの詳細は、今後策定する「アクションプラン編」で定めることとしています。 そのため、基本構想編では具体的な期間設定までは行わず、PDCAサイクルを通じて着実に取組を進めていく方針を示すにとどめています。

第3次山鹿市総合計画基本構想編（素案）に対する「市民意見募集実施結果」

No.	ご意見概要	市の考え方
10	<p>山鹿市は全国的にも有数の温泉資源に恵まれたまちであり、この地域資源を活かした子育て支援策を展開することは、本市の特色を生かしたまちづくりにつながると考えます。</p> <p>そこで、地元住民、特に子育て世代を対象とした「温泉利用支援制度（割引制度等）」の創設を提案いたします。</p> <p>現在、山鹿市では高校生まで医療費が無料となっており、子どもの健康を守る制度が整備されていますが、温泉もまた「地域の健康づくり」「親子のふれあい」「ストレス軽減」といった観点から、子育て支援および健康増進の両面で有効な資源であると考えます。</p> <p>実施にあたっては、市内温泉事業者との連携を図りながら、以下のような段階的運用を提案いたします。</p> <p>市内居住者を対象とした「地元温泉割引制度」の導入（自治体発行のクーポン・アプリ等を活用）</p> <p>現在、さくら湯などで実施されている「子ども無料デー（月1回）」の取組を、市と温泉事業者が連携協定を結ぶ形で他施設にも拡充・統一的に実施</p> <p>制度の効果を検証し、将来的に「山鹿市の子どもはいつでも温泉無料」となる恒常的な支援制度へ発展させることを検討</p> <p>本提案は、福祉・健康・観光の各分野を横断した取り組みとして、地域住民の健康増進と温泉文化の継承、さらには温泉事業者の利用促進にも寄与するものです。</p> <p>また、事業者との協働により財政負担を抑えつつ、地域経済への波及効果も期待できるため、観光振興費や健康づくり関連予算の活用による実現が可能と考えます。</p> <p>最終的には、「山鹿の子どもはいつでも温泉に入れるまち」という温かく魅力的なイメージが定着し、子育て世代の山鹿市への移住促進、資源を活かした独自の取り組みを通して、山鹿市の発信力・ブランド力の向上にも寄与することを期待いたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市は、全国的にも貴重な温泉資源に恵まれており、温泉は「心と体の健康づくり」や「世代をこえた交流の場」として大切な地域資源であり、山鹿市の強みとして独自性を打ち出す重点戦略と位置づけております。</p> <p>ご提案のような「子育て世代への温泉利用支援制度」については、今後、温泉事業者の皆さまとの連携の可能性や、他地域の事例なども参考にしながら、子育て支援や健康づくりの観点から検討を進めてまいります。</p> <p>「山鹿の子どもはいつでも温泉に入れるまち」という思いは、山鹿らしい温かいまちづくりの一つの方向として大切にしていきたいと考えています。</p>
11	<p>①山鹿市の課題ですが、作物などの被害者が増えているので農家にとっては深刻な課題であり、鳥獣被害対策が必要と思います。また、どこそこに出没している現状から、一般市民にとっても対策を講じていく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>②山鹿市が今後力を入れたいことが、よくわかりません。課題への対応も必要ですが、山鹿市のいいところを伸ばす取り組みも大事ではないのでしょうか。例えば、八千代座を活用した文化の振興とか、山鹿和栗を活かした農業や加工商品の発展などです。山鹿市ならではの取り組みがほしいなと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>① 鳥獣被害対策については、農業の持続に関わる重要な課題であると認識しています。ただし、本計画（基本構想編）では、市全体の将来像やまちづくりの方向性を示すことを目的としており、個別の課題や具体的な対策内容までは記載していません。今後策定する「アクションプラン編」において、農業分野の取組の中で、鳥獣被害対策などの具体的な施策を検討していく予定です。</p> <p>② また、「山鹿市のよいところを伸ばす取組」についても、基本構想編ではまちの強みや魅力を活かす方向性を示しており、個別の取組内容や事業化の検討はアクションプラン編で検討していく予定です。</p> <p>そのため、本計画では個別事業を具体的に挙げず、全体の理念と方向性を重視した構成としています。</p>

第3次山鹿市総合計画基本構想編（素案）に対する「市民意見募集実施結果」

No.	ご意見概要	市の考え方
12	<p>私は村の役員等をしておりますが、このままでは将来どうなるのだろうと思う事が多々あります。</p> <p>老人会、婦人会が無くなり子供会も近く無くなるそうです。予算削減などで放置されていく事案、放置された墓の掃除や史跡の管理、公地の草刈等を私たちの年代がいなくなれば誰もしなくなるでしょう。</p> <p>地域おこしの問題として新しい事を始めようにも今現在の問題に人手や資金を取られ余裕がありません。</p> <p>その地域に活力を与えるには新しい機械、ドローンやラジコン草刈機等を早急に投入する必要がありますと思います。</p> <p>企業や学校等にドローンやラジコン草刈機等の開発や試作機のモニター等を山鹿市内や市民で行った場合は補助をするなどの方法で誘致すれば、その地域にお金が落ち人材が育ち草刈等の負担も減り、将来性の高い技術者が地元に残り、持続可能な地域おこしの一環になると思います。</p> <p>なぜならドローンは災害時や農業林業建設業等、幅広い分野で必要になりますしラジコン等は草刈だけでなく将来AIと融合し自宅から遠隔作業で農地や公地の管理を一部をすることになるでしょう。</p> <p>幸い山鹿市には堤防等で作業する場所に事欠きません。</p> <p>現在、災害時の不安や火災の危険がありながら放置されているに等しい場所をドローンやラジコン草刈機等の開発に利用できるなら地元の住民も喜びます。</p> <p>試作機のモニターをYouTube等で配信すれば山鹿市のPRにもなります。</p> <p>高度成長期に三種の神器があったようにドローン、ラジコン草刈機、AIといった最新機器を山鹿市の三種の神器として人材育成をし農業、工業、地元の未来を切り開いてほしいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>地域の将来や人手不足への不安、また新しい技術を活用した地域おこしへの具体的なお提案をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>ご指摘のとおり、ドローンやラジコン草刈機などの新技術を活用した地域づくりは、今後の人手不足対策や生産性の向上に有効な手段の一つであり、将来的に大きな可能性を持っています。</p> <p>一方で、本計画（基本構想編）は、市の将来像やまちづくりの方向性を示すものであり、特定の技術や事業提案などの具体的な取組内容までは記載していません。</p> <p>今後策定する「アクションプラン編」において、地域の課題解決や新技術の導入促進に関する施策を検討していく予定です。</p> <p>市では、引き続き地域の皆さまの声を伺いながら、持続可能な地域づくりに向けた取組を進めてまいります。</p>